

「歯内-歯周病変への挑戦」

石川 亮
石川歯科医院

Simon ら（1972 年）は歯内-歯周病変に関して、病因論に基づいた優れた病型分類を発表している。しかし我々は、治療に際して病因を考えることが必須であるにも関わらず、この病型分類が治療上の意思決定にあまり役立たない、というジレンマを抱えているのではないだろうか。

たとえば Simon は、元来それぞれ独立していた歯内病変と歯周病変が後に一緒になったものを「真の歯内-歯周病変」と定義したが、治療前にこれを確定診断することは不可能であるだけでなく、臨床上の意思決定には関与しない。さらに近年では、歯周組織再生療法が臨床応用されることで、「抜歯か保存か」という術者の意思決定に影響を与えている点も 1972 年当時とは異なる。

これらを踏まえて私は、歯内-歯周病変が疑われる歯に対し、現代に即した臨床治療手順と歯周組織再生療法を成功裏に導く上での顕微鏡使用の要点について私見を述べさせていただき、皆様のご意見とご指導を仰ぎたいと考えている。

【略歴】

1991 年 朝日大学歯学部 卒業
2000 年 西宮市にて石川歯科医院 開設
2015 年 尼崎市に移転 開設

【現在の役職及び所属学会】

5-D Japan コースインストラクター
(ペリオ・インプラント ファンダメンタルコース / エンド・修復ファンダメンタルコース / アドバンスコース)
日本歯周病学会 歯周病専門医
日本臨床歯周病学会 認定医
日本臨床歯周病学会 歯周インプラント認定医
EAED Affiliate member
AAP 会員
日本顎咬合学会 会員
日本歯内療法学会 会員
日本顕微鏡歯科学会 会員